埼玉県立大学 地域包括ケア推進セミナー 第4回 地域課題の把握方法を学ぼう (2019年6月20日)

# 地域マネジメントの基本的進め方と 今回のセミナー内容について

埼玉県立大学大学院/研究開発センター 川越雅弘

Kawagoe-masahiro@spu.ac.jp

## マネジメントとは

## 【マネジメントとは】

ピーター・ドラッカーはマネジメントのことを「人と組織を活かして成果を上げること (=課題を解決すること)」と定義している。

## 例:ケアマネジメントの目的とケアマネジャーの役割

### 【ケアマネジメントの目的】

- 本人が望む自分らしい生活が送れるよう(=成果)、本人の生活機能の維持・向上を出来るだけ支援すること。
  - →このことが、結果として、要介護度の維持・向上にも貢献する。

#### 【ケアマネジャーとは】

• 本人が望む自分らしい生活とは何か」を情報収集した上で、①現状とのギャップの評価 (課題の抽出)、②解決すべき課題の絞り込み、③それら課題を生じさせている原因の追求(課題分析)、④多職種による課題改善/解決策の検討と実践を通じて、課題を実際に改善・解決できる人のこと

## 「マネジメントの対象である課題」と「対策」と「指標」の関係性

## 図. 課題/対策の関係性

# 必要量/目指す姿 (量、質)

両者の ギャップを 「課題」と いう 指標は、ギャップ 量の現状と施策 による変化を確認するためのもの。

#### 施策の実施

#### 【目的】

- ・ギャップの縮小 (改善)
- ·拡大防止 (現状維持)

現 状 (量、質)

#### マネジメントの基本的視点

- ▶ マネジメントとは「課題」を対象とするもの。
- ▶ 課題とは、目指す姿(ゴール)と現状のギャップのこと。 したがって、「目指す姿の設定」が必須となる。
- ▶ 課題の対象は、①体制整備に関するもの、②機能に 関するもの(質)に大別される。
- 対策には、①改善を目指すもの、②リスク回避により 課題の拡大防止を目指すものがある。前者は、「現 状」を「目指す姿」に近づけることで課題の改善ないし 解決を図るもの。
  - ⇒地域マネジメントでは、「現状」を「目指す姿」に 近づけるために何をすべきか(施策)を考える。
- ▶ 指標は、①現状や課題を把握する、②施策等により 課題が改善に向かっているかどうか(現状が目指す姿 に近づいているか、どの程度近づいたか)を確認するた めのもの。
- ▶ 指標には、①提供量の確保とその利用状況に関する もの(ストラクチャー、プロセス中心)、②機能とその 効果に関するもの(ストラクチャー、プロセス、アウトカ ム)がある。

# 地域マネジメントの流れとは(概念図)

今回のセミナーの主対象 国の施策動向の把握 現状分析 (市町村に期待される 解決すべき ・個別事例の検証 役割とは何か) 地域課題の抽出 ・既存データの分析 ・アンケート 等 評価 課題解決に向けた (現状維持/修正) 方法論の内部検討 会議で行うこと ·課題/目標共有 ・対策の検討 関係者を交えた ・役割分担の確認 ・Eこタリング内容の 多職種·多主体会議 モニタリング 確認と共有 ·生活支援「協議体」 ・スケジュール確認 等 (経過確認) ・地域ケア推進会議等 会議運営能力 が求められる 生活支援協議体の場合 社福法人 民間企業 社協 NPO法人